

製品安全データシート

製造者情報

製造会社名 : Polyfoam Products, Inc.
 住所 : P.O. Box 1539
 11715 Boudreaux Rd.
 Tomball, TX 77375-1539
 電話番号 : (281)350-8888
 FAX番号 : (281)516-3074

製品名 : ポリフォームP-30・P-100のA液

物質の特定

・単一製品・混合物の区別
 ・構造式

混合物
 略

化学名	含有量	化学式	化審法番号	安衛法番号	CAS No.
ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)	} > 78	後述	4-118	4-118	101-68-8
MDI中の分子量オリゴマー			7-872	7-872	9016-87-9
ポリシロキサン(混合物)	< 2				N/A
クロロジフルオロメタン	< 20	CHClF ₂	2-93	2-93	75-45-6

国連分類 クラス2 国連番号 1018

危険有害性の分類

- ・分類の名称 : 高圧ガス
 「ポリフォームP-30・P-100A液は高圧ガス容器(米国規格DOT39合格)内に窒素ガスより加圧・充填されている。容器内の未使用の状態通常約1.77MPaである。」
- ・危険性 : ポリフォームP-30・P-100A液、及びB液と反応し生成されるウレタンフォームは可燃性であるので、作業時は禁煙し、かつ直火や溶接作業、電気設備の使用を止めること。
 ポリフォームP-30・P-100は使い捨て型の二液ボンベ式簡易ウレタン発泡システムである。容器は高圧ガス保安法にて再充填が禁止されている。使用後は容器を「廃棄上の注意」の欄に記載の「ボンベの廃棄処理」に従って処理し、産業廃棄物として専門の産業廃棄物処理業へ渡す。未処理で処分したり、一般ゴミとして廃棄するとボンベ内のA液や圧力が残った状態であるため、火災、爆発、破裂など重大な危険性を生じる恐れがある。
- ・有害性 : 眼・皮膚:刺激する。
 吸入:ぜんそくのような感作性を起こす。蒸気を吸入すると、頭痛、息切れ、心肺の不調をもたらす。
 飲み込み:粘膜を刺激する。
 【暴露での兆候】
 吸入:粘膜の刺激、呼吸器官のしめつけ、頭痛などをもたらす。
 皮膚:赤くはれる。
 飲み込み:口、消化器官への刺激と腐食作用がある。
 【暴露での悪化した状態】
 ぜん息、その他呼吸器系疾患(気管支炎、肺気腫、過敏性肺炎)、皮膚アレルギー、湿疹などを起こすことがある。
- ・環境影響 : データなし。

物理/化学的性質

- ・外観等 : 容器の充填された圧力下の状態では、液体とガス。容器から吐出されると薄黄色ないし濃褐色の泡状の液体。
- ・沸点() : < -17.8
- ・融点() : < 0
- ・溶解度(水) : 溶解しない徐々に反応してCO₂発生。
- ・粘度(Pa・s) : 0.13(25)
- ・蒸気圧(Pa) : 1142kPa(25)
- ・比重 : 1.23(25)
- ・蒸気密度 : 3.03(25)(空気=1)
- ・容積当たり揮発分(%) : < 20

危険性情報

- ・引火点() : 218

有害性情報

- ・急性毒性 : 【ジフェニルメタンジイソシアネート】
ラット(吸引) LC50 370~490mg/m³ (4h) (ホリメックMDI)
LC50 172~187mg/m³ (5h) (4-4' MDI)
- 化学物質名 ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)
- 急性毒性
LD50(経口): ラット: >15.8g/kg (4-4'MDI)
LD50(皮膚): ウサギ: 5.01~7.94g/kg (4-4'MDI)
- : 【クロロジフルオロメタン】
ラット(吸引) LC50 220,000ppm

環境影響情報

- ・分解性 : データなし。
- ・蓄積性 : データなし。
- ・魚毒性 : データなし。
- ・その他 : 【オゾン破壊係数】ポリフォームP-30・P-100A液に含有されるクロロジフルオロメタン(HCFC-22)は、0.055(但し、CFC-11を1.0とする)。
【地球温暖化係数】ポリフォームP-30・P-100A液に含有されるクロロジフルオロメタン(HCFC-22)は、0.32~0.37(但し、CFC-11を1.0とする)。
【ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)化学式】OCN-C6H4-CH2-C6H4-NCO

応急措置

火災時の措置

漏出時の措置

取り扱い及び保管上の注意

- ・取り扱い : ・ 高圧ガス保安法に準拠して作業すること。
・ 容器の再充填は禁止されている。
- ・保管 : ・ 高圧ガス保安法に準拠して貯蔵する。
・ 容器は直射日光を避け涼しい換気の良い場所に保管し、湿気や水滴などに当たらないようにする。

暴露防止措置

- ・保護具
 - 呼吸用保護具 : 送気マスク又は自給式呼吸器を着用する。
 - 保護眼鏡 : 保護眼鏡を着用する。
 - 保護手袋 : 不浸透性保護手袋・保護衣・保護長靴・安全帽・安全靴・スキンクリーム・前掛け及び長袖シャツなどを着用する。
 - 保護衣 : 必要に応じて着用する。

廃棄上の注意

- ・高圧ガス保安法第25条に準拠して廃棄する。

建築基準法関連

建築基準法に関連し、この製品にはクロルピリホス、ホルムアルデヒドは含有されていない。

ホルムアルデヒド放散量区分: 日本接着剤工業会、室内空気質汚染対策のための自主管理規定

JAIA-006445 F (ポリフォーム・P-30)
JAIA-006446 F (ポリフォーム・P-100)

製品安全データシート

製造者情報

製造会社名 : Polyfoam Products, Inc.
 住所 : P.O. Box 1539
 11715 Boudreaux Rd.
 Tomball, TX 77375-1539
 電話番号 : (281)350-8888
 FAX番号 : (281)516-3074

製品名 : ポリフォームP-30・P-100のB液

物質の特定

・単一製品・混合物の区別 : 混合物
 ・構造式 : 略

化学名	含有量	化学式	化審法番号	安衛法番号	CAS No.
ポリフォームB液成分	100				混合物
ポリエーテルポリオールブレンド					N/A
ポリシロキサン(混合物)	< 2				N/A
触媒	< 3				N/A
水	< 10				7732-18-5
ハロゲン化炭化水素	< 28	(PEL/TLV-SOURCE	1000PPM)		75-45-6

国連分類 クラス2 国連番号 1018

危険有害性の分類

- ・分類の名称 : 高压ガス
 「ポリフォームP-30・P-100B液は高压ガス容器(米国規格DOT39合格)内に窒素ガスより加圧・充填されている。容器内の未使用の状態通常約1.77MPaである。」
- ・危険性 : ポリフォームP-30・P-100A液、及びB液と反応し生成されるウレタンフォームは可燃性であるので、作業時は禁煙し、かつ直火や溶接作業、電気設備の使用を止めること。
 ポリフォームP-30・P-100は使い捨て型の二液ポンベ式簡易ウレタン発泡システムである。容器は高压ガス保安法にて再充填が禁止されている。使用後は容器を「廃棄上の注意」の欄に記載の「ポンベの廃棄処理」に従って処理し、産業廃棄物として専門の産業廃棄物処理業へ渡す。未処理で処分したり、一般ゴミとして廃棄するとポンベ内のA液や圧力が残った状態であるため、火災、爆発、破裂など重大な危険性を生じる恐れがある。
- ・有害性 : ポリエーテルポリオールを主成分とするB液はA液に比べて毒性はほとんど問題にならないが、次の項目に注意する必要がある
 眼・皮膚: 刺激する可能性がある。
 吸引: 頭痛、息切れを生じる可能性がある。
 飲み込み: 粘膜を刺激する可能性がある。
 【暴露での兆候】
 眼、皮膚: 刺激する。
 吸引: 濃度10%以下ではほとんど問題は無いが、酸欠状態に伴うような軽い頭痛や息切れが生じる可能性がある。1000TLV以上の濃度では、ハロゲン化炭化水素によって気絶、窒息状態に成る事がある。又、粘膜の刺激、呼吸器官のしめつけ、頭痛などをもたらす。
 【暴露での悪化した状態】
 気管支炎その他呼吸器系疾患やアレルギー症状を起こすことがある。
- ・環境影響 : データなし。

物理/化学的性質

- ・外観等 : 容器の充填された圧力下の状態では、液体とガス。容器から吐出されると薄黄色ないし褐色の泡状の液体。
- ・沸点() : < -17.8 ・蒸気圧(Pa) : 333kPa
 ・融点() : なし ・比重 : 1.1
 ・溶解度(水) : データなし ・蒸気密度 : > 1
 ・揮発分(%) : < 2.5

危険性情報

- ・引火点() : 218.3(PMCC)

有害性情報

- ・刺激性(皮膚、眼) : 蒸気・ミストは眼及び呼吸器・気管や皮膚に対して刺激する場合がある。
 - ・感作性 : 息切れを伴い咳き込む場合がある。
 - ・急性毒性 : 濃度10%以下ではほとんど問題は無いが、酸欠状態に伴うような軽い頭痛や息切れが生じる場合がある。1000TLV以上の濃度では、ハロゲン化炭化水素によって気絶、窒息状態に成る事がある。又、粘膜の刺激、呼吸器官のしめつけ、頭痛などをもたらす。
-

環境影響情報

- ・分解性 : データなし。
 - ・蓄積性 : データなし。
 - ・魚毒性 : データなし。
 - ・その他 :
-

応急措置

火災時の措置

漏出時の措置

取り扱い及び保管上の注意

- ・取り扱い :
 - ・ 高圧ガス保安法に準拠して作業すること。
 - ・ 容器の再充填は禁止されている。

 - ・保管 :
 - ・ 高圧ガス保安法に準拠して貯蔵する。
 - ・ 容器は直射日光を避け涼しい換気の良い場所に保管し、湿気や水滴などに当たらないようにする。
-

暴露防止措置

- ・保護具
 - 呼吸用保護具 : 送気マスク又は自給式呼吸器を着用する。
 - 保護眼鏡 : 保護眼鏡を着用する。
 - 保護手袋 : 不浸透性保護手袋・保護衣・保護長靴・安全帽・安全靴・スキンクリーム・前掛け及び長袖シャツなどを着用する。
 - 保護衣 : 必要に応じて着用する。
-

廃棄上の注意

- ・高圧ガス保安法第25条に準拠して廃棄する。
-

建築基準法関連

建築基準法に関連し、この製品にはクロロルピリホス、ホルムアルデヒドは含有されていない。

ホルムアルデヒド放散量区分: 日本接着剤工業会、室内空気質汚染対策のための自主管理規定

JAIA-006445 F (ポリフォーム・P-30)

JAIA-006446 F (ポリフォーム・P-100)